

ご注意を!

6～9月は光化学スモッグの発生しやすい時期です

目やのどの痛み、頭痛や吐き気などの症状が出る場合があります。気管支ぜん息の既往歴のある方や乳幼児、高齢者、病弱な方などは影響を受けやすいので特に注意が必要です。



光化学スモッグ注意報などが発令されたら

屋内へ入りましょう。また、窒素酸化物の排出量を少なくするため、できるだけ自動車での外出を控えましょう。

目がチカチカしたり、のどに痛みを感じたときは

屋内に入り洗眼やうがいをしてください。光化学スモッグの影響と思われる場合は、地域健康課（6面参照。土・日曜、祝日は東京都保健医療情報センター ☎5272-0303、聴覚障がい者用 FAX5285-8080）へ連絡してください。

光化学スモッグに関する情報は

区の防災行政無線などでお知らせします。東京都の光化学スモッグに関する情報は、東京都環境局のホームページで閲覧できます。

東京都の情報

- テレホンサービス ☎5320-7800
- 環境局ホームページ <http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/>
- インターネットによる緊急時情報（パソコン・携帯電話共通）
<http://www.ox.kankyo.metro.tokyo.jp/>

☎環境対策課環境調査指導担当 ☎5744-1367 FAX5744-1532

ハクビシン・アライグマの被害でお困りの方へ HP



区では、箱型のわなを設置して、ハクビシンなどの外来生物を捕獲する事業を行っています。被害に遭った場合は問合先へご相談ください。

区内でも、天井裏などにすみつかれる被害（ふん尿の悪臭、建物損害、足音・鳴き声の騒音など）や、敷地内の果樹を食べられる被害が発生しています。

☎環境対策課環境推進担当 ☎5744-1365 FAX5744-1532

大田文化の森 催し案内

詳細はお問い合わせください。 <http://www.bunmori-unkyo.jp/>

☎大田文化の森運営協議会 ☎143-0024 中央2-10-1(4階) ☎3772-0770 FAX3772-0704

①歌って楽しむ七夕の集い

七夕のお話とともに歌い、タップダンスとともに歌いましょう！出演、コール・なな（コーラス）、宇川彩子（タップダンス）。7月7日(金)、午後2時～4時。抽選で200名。6月23日必着（HPから申込可）

②親子でプログラミング タブレットPCでアニメを描こう！

プログラミングソフトのビスケットを使って、親子で簡単なアニメを制作します。年長児～小学生と大人のペア。7月22日(土)、午後2時～4時。費1組500円（タブレットPCを持参）。抽選で10組20名。7月6日必着（HPから申込可）

◇①②ともに◇

車往復はがき。催し名、〒住所、氏名、年齢、電話番号、区報で見た旨を明記。①は同伴者1名記名可②はお子さんの氏名・年齢も明記。1枚1講座。

※申し込みが一定数に達しないときは、企画を中止か延期する場合があります。

◆公募企画募集（随時）

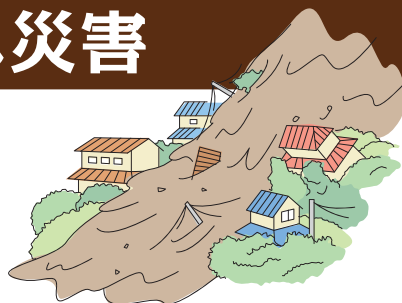
区民の文化活動の推進・支援を目的とする「大田文化の森運営協議会」であなたの文化活動を実現してみませんか？詳細はHPをご覧ください。

自分や家族の命を守るために 災害に備えましょう

危険！ がけ崩れ災害

長雨が続いた後や、地震のときが危険です。がけの所有者や管理者は、がけ崩れが起こらないよう次の点に注意して、点検や整備をしましょう。

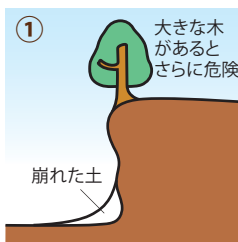
- ひび割れ・膨らみがないかを確認する
- 擁壁の上面には雨水が浸透しないよう不透水層や排水溝を設ける
- 擁壁の水抜き穴を清掃する



特に危険ながけや擁壁

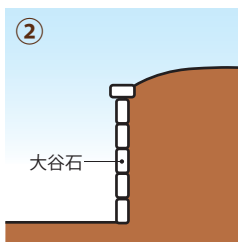
①自然がけ

表面が露出していると、雨水が染み込み、土が不安定になるため崩れやすくなります。上部が張り出した状態のがけは特に危険です。



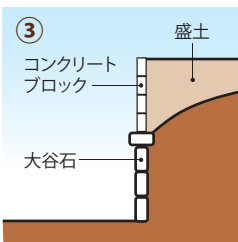
②大谷石積み擁壁など

大谷石やコンクリートブロックなどで造られた擁壁は、強度が小さく、石と石がコンクリートで十分に結合されていない積み方のため、崩れやすく危険です。



③継ぎ足し擁壁

擁壁の上にさらに大谷石やコンクリートブロックを積み増して土盛りをしているため、構造的に不安定で崩れやすくなっています。継ぎ足した高さによっては、その部分だけ崩れても大きな災害を引き起こす危険があります。



高さが2mを超える擁壁を造る場合は、建築基準法による工作物の確認申請が必要です。工事は専門家の監督のもと、安全・適切に行い、必ず完了検査を受けましょう。

☎がけや擁壁の相談について＝建築審査課構造審査担当

☎5744-1389 FAX 5744-1557

擁壁工事の助成について＝防災まちづくり課耐震改修担当

☎5744-1349 FAX 5744-1526

水害

地下室を造るときはご注意を！

近年、局所的な集中豪雨の多発に加え、建築物の地下空間利用（居室・駐車場など）の増加に伴い、地下室などへの浸水被害が発生しています。



設計時に工夫しましょう

- ①半地下や地下の玄関には、道路面より少し高く階段を設ける
- ②半地下や地下の駐車場には、「止水板」を設置する
- ③地下室の電源コンセントは壁の高い位置に配置する、地下室専用の分電盤を設ける



豪雨・洪水のときには

地下にいと外の様子がわかりません。早めに避難するようにしましょう。



●地上が冠水すると一気に水が流れ込めます。

☎建築審査課建築審査係 ☎5744-1388 FAX5744-1557